



コワーキングという
新しい働き方を応援
札幌コワーキング・サポーターズ
の取組

経済産業省北海道経済産業局
地域経済部産業人材政策課

北海道経済産業局では、新たな働き方として世間から注目されている“コワーキング”に着目し、北海道の新たなビジネス創造を支援しています。

そこで今回は、当局をはじめ札幌市、北洋銀行、北海道大学がチームを組んだ全国でも初めてとなるコワーキング応援組織「札幌コワーキング・サポーターズ（SCS）」の取組を紹介します。

コワーキングとは

コワーキング（Coworking）とは、ソーシャルメディアの普及により「企業や組織に所属しない（または組織・企業の枠を超えて）様々な能力や価値観を持つ人たちが集い、積極的にコミュニケーションしながらノウハウやアイデアを共有し、刺激し合いコラボしながら仕事を行う」という新しい働き方の総称として整理されています。

この新しい価値観に基づく「自分サイズの仕事の仕方」が、従来にない柔軟で迅速、先進的な発想を生み出すコミュニティを形成し（オープンイノベーション）、個がそれぞれ連携することにより、新ビジネスの創出につながり始めています。

主に若手フリーランスやIT系、クリエイティブ系、新興ベンチャー、社会起業家等を中心に、急速に多様化しながら発展しています。このコワーキングが行われる場が「コワーキング・スペース」です。

コワーキング・スペースでは、一般的なネットカフェや単なるシェアスペースとは異なり、利用者同士のコミュニケーションが推奨される環境（オープンスペース、勉強会・イベントの開催、情報交換の掲示板等）が整えられており、そこで形成されるコミュニティを中心としたワークスペースとなっています。

また、スペース運営者も、単なる場所の管理だけでなく、利用者同士の引き合わせやコラボの誘導を積極的に行い、オープンイノベーションの場として、全国的に急速な広がりを見せています。

週末等になると、コワーキング・スペースではよく“Jelly”と呼ばれるコワーキング体験イベントが開催されており、参加者同士が互いを知る良いきっかけになっているようです。

コワーキング利用者（コワーカー）は、活動拠点を1カ所に依存するということはあまりせず、場面や状況によって適切なスペースを使い分けることも多く、月や年間契約のほか、「ドロップイン」と呼ばれる時間単位での利用も活発です。

IT技術の発達により、通信環境と電源があればどこでも仕事ができる時代になり、彼らのコミュニケーションツールも電話やメールから、フェイスブックやツイッターに代表されるSNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）へと移行する一方で、行政サイドとしては、従来の広報ではなかなか情報が伝えられず、現状や支援ニーズの把握が難しいといった課題も出てきています。

コワーキングの歴史

コワーキングは、2000年台半ばのサンフランシスコが発祥といわれています。その後、欧米中心に世界中に急拡大し、現在世界中で400カ所以上が確認されています。IT系から非IT系のバイオやものづくり等への進化が続き、大学と連携した教育や投資家の集まる場所にもなっています。

日本では、神戸の「カフーツ」が2010年5月に国内で最初にコワーキングという名称を使い、欧米の先端事例を取り入れた形でサービスを開始したのが始まりだと言われています。

現在、国内では今後の開設予定も含め90カ所以上のコワーキング・スペースが確認されています。さらに地方都市にも広がりを見せており、大企業や地方金融機関等がコワーキング・スペースを設置、提供する動きも出ています。

なお、今年5月には全国26のコワーキング事業者が「コワーキングVISA.jp」というサービスを開始してい



カリフォルニア州サンフランシスコのCitizen Space



イギリス ロンドンのThe Hub



東京で初めて開業したPAX Coworking（経堂）



天王洲にあるサムライ・スタートアップ・アイランド



レーザーカッターを設置したものづくり系のFabCafe（渋谷）



北海道第1号のコワーキング・スペース Garage labs

ます。これはあるスペースの会員が別の coworking・スペースを利用するときに割引や特典などが受けられる制度で、欧米では既に始まっているものです。

コミュニティを活発化させるために、あえて自社の顧客を囲い込むのではなく、相互利用を推奨しているものですが、coworkingという新たな働き方が、コミュニティを基盤としている現れといえます。

6月には、全国の coworkingスペースの関係者が一堂に集い、東京で初めてとなる coworkingカンファレンス「Coworking Conference TOKYO 2012」も開催されるなど、さらなるムーブメントを予感させます。

北海道の coworking・スペース

このように、首都圏を中心に猛烈な勢いで拡大している coworking・スペースですが、北海道においても、昨年11月に株24-7が運営する道内初の coworking・スペース「Garage labs」が札幌市内にオープンしたことを皮切りに、本年6月には札幌大通まちづくり(株)が運営する「さっぽろ大通 coworkingスペース ドリノキ」がオープンしました。

さらに7月には、道内地方都市では初めて函館市に(株)インフィニティスペースが運営する「coworking

スペース小春日和」がオープン予定です。（6月15日現在）

大都市圏以外では、まだまだ認知度が低い coworkingですが、Garage labsでは既に多数の会員がエントリーしているということです。今後、首都圏との連携や道内都市間の連携なども視野に入れ、互いに活動を拡充することによる地域の活性化が期待されています。

coworking応援組織「SCS」

こうした新たな動きを加速し、札幌を coworkingのメッカとするために、北海道経済産業局、札幌市、北洋銀行、北海道大学大学院経済学研究科地域経済経営ネットワーク研究センター（REBN）の4機関が連携して、平成24年3月15日、金融・大学・行政による全国初の coworking応援組織「札幌 coworking・サポーターズ（SCS）」を結成しました。

SCSでは、これまでにない新たなビジネスの創造・拡大が期待される coworkingの目覚めや動きを応援する『札幌 coworking・ウェイクアップ・プロジェクト』と称する取組を展開する予定です。以下にこの取組の三つの柱を紹介します。



SCSフェイスブックページ
URL:<http://www.facebook.com/scs.coworking>

(1) SCSフェイスブックページの開設による「 coworking 情報ハブ」の構築

SCSのサポートターゲットであるコワーカーの方々の主なコミュニケーション手段がソーシャルネットワークサービスであることから、当局として初めての試みとなる「SCSフェイスブックページ」を開設し、主に次のような情報提供や交流拡大を通して、道内の「 coworking 情報ハブ」を目指します。

- ・SCSメンバーが提供する支援メニュー情報・イベント情報
- ・北海道内外の coworking ・スペースの情報
- ・ coworking ・スペースの運営を希望する方への各種情報提供

(2) coworking ・スペース巡回サービスの開始

道内第1号の coworking ・スペース「Garage labs」と、6月に開設した「さっぽろ大通 coworking スペース ドリノキ」を定期的に訪問し、 coworking ・スペース運営者とのコミュニケーションを通じて、コワーカーのニーズ、各種相談や専門家派遣等の希望に対応するほか、SCSの支援メニューの紹介などを行います。

(3) 札幌 coworking ・フォーラム（仮称）の開催

「 coworking 」という新しい働き方を発信することで、世代、性別にとらわれない起業家（予備軍）、フリーランス、学生、 coworking ・スペース運営者が一堂に集まることによる気づきや出会いの場の提供、それに伴う新たな事業創出のきっかけづくりなどを目指し、9月にイベントを開催する予定です。

詳細はこれからですが、北海道で活躍されているコワーカーをはじめ、 coworking 事業者や関係支援機関など、地域活性化に向けて関係者が一丸となったイベントになるよう計画中です。



巡回サービスで使用する
SCS支援施策リーフレット

おわりに

コワーキングという概念は、仕事環境という意味からすると、IT技術の発達により劇的に進化している最新の仕事の仕方なのかもしれません。他方、コミュニティを中心にとらえた「生き方」は実は古くから大事にされているキーワードです。

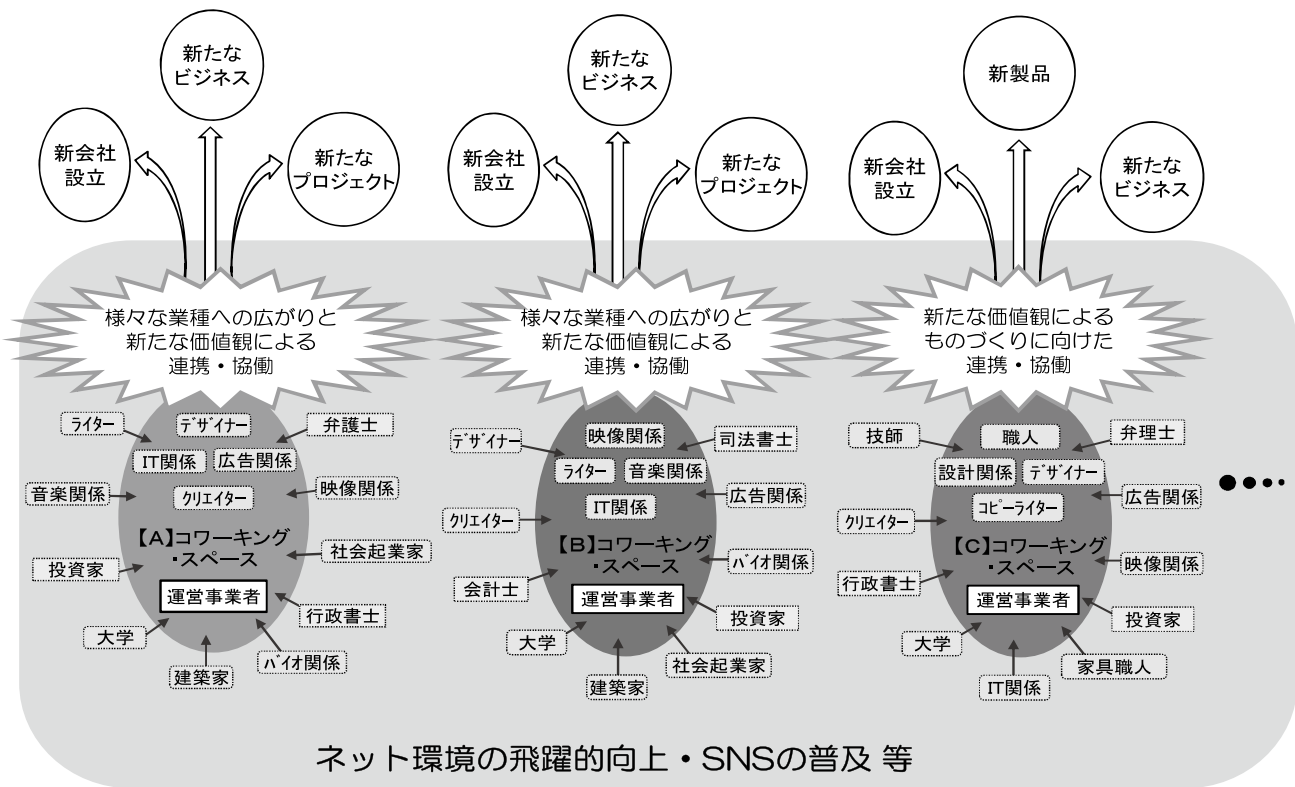
厳しい経済状況にあって、これまでの価値観や手法にとらわれない「自分サイズの仕事の仕方」は、世界レベルでの広がりを見ると、今後も確実に普及・発展していくことが期待されます。

とりわけ、開業・起業の向上による経済循環やビジネス機会、雇用、所得等の拡大が求められる北海道において、こうした取組がもたらす効果は計り知れません。

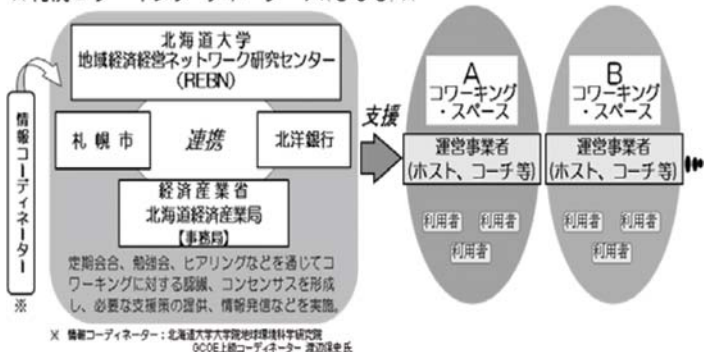
私たち行政や金融、大学なども、これまでの業界支援の枠組みに縛られることなく、新たな発想で柔軟に支援していくことが求められていると感じています。

コワーキング支援の取組は、まだまだ始まったばかりですが、コワーカーの方々に少しでも喜ばれるサポートを柔軟に展開していくことで、まさに「コワーキングの情報ハブ」を目指していきたいと考えています。

コワーキング(Coworking)に期待される新たな広がり



★札幌コワーキング・サポーターズ(SCS)★



〔参考〕 道内のコワーキング・スペース

◆Garage labs (ガレージラボ)

<http://garage-labs.jp/>

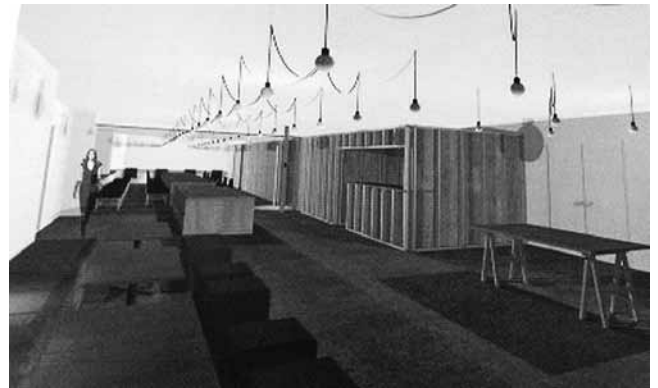
- ・ Open : 2011年11月19日
- ・ 所在地: 札幌市中央区北3条西14丁目2-2
- ・ 運営: (株)24-7
- ・ 営業時間: 平日11時～22時、土曜11時～18時
- ・ 料金: 無料
 - ※ 本スペース利用には事前登録が必要。登録条件は、本スペースウェブサイトをご覧ください。
- ・ 利用人数: 16人程度
- ・ 設備: 電源/インターネット接続/Wi-Fi接続環境/会議室/自動販売機/電子レンジ/電気ポット/冷蔵庫/マッチングボード/ジョブボード/自由本棚/プリンタ/テレビ/プロジェクタ/モニター/ホワイトボード/マイク/ミキサー/ScanSnap/裁断機 等



◆さっぽろ大通コワーキングスペース ドリノキ

<http://sapporo-odori.jp/news/?p=432>

- ・ Open : 2012年6月15日
- ・ 所在地: 札幌市中央区南1条西4丁目13日之出ビル9階
- ・ 運営: 札幌大通まちづくり(株)
- ・ 営業時間: 8時～23時
- ・ 料金: 入会金: 3万円、ワークブース: 3万～10万円/月
フレックス利用ブース: 1万2500円/月
- ・ 利用人数: ワークブース (シェアオフィス) 52人
(1人用: 8、2人用: 17、3人用: 2、4人用: 1)
フレックス利用ブース (コワーキングスペース) 25人
- ・ 設備: 電源/インターネット接続/Wi-Fi接続環境/FAX回線/複合機/受付コンシェルジュ常駐/会議室3カ所/ギャラリー展示スペース/レクチャールーム/ラウンジスペース/ロッカー 等



イメージ図

◆コワーキングスペース 小春日和

<http://www.8space.info/>

- ・ Open : 2012年7月3日 (予定)
- ・ 所在地: 函館市八幡町18-18
- ・ 運営: (株)インフィニティスペース
- ・ 営業時間: 平日11時～21時、土曜11時～18時
- ・ 料金: 登録料: 2,000円
フリーパス: 9,700円/月
ドロップイン: 800円/1日
ミニドロップイン: 500円/2時間 ※初回体験あり
- ・ 利用人数: 15人程度
- ・ 設備: 電源/インターネット接続/Wi-Fi接続環境/プリンタ/スキャナー/FAX/ホワイトボード/プロジェクタ/スクリーン/会議室/カフェスペース/各種スキルアップスクール/駐車場16台完備

